

埼玉県鳩山町の総合事業について（デマンド交通実証運行）

計画事業

現況及び課題

- 町内には鉄道駅はなく、民間の路線バス（川越観光自動車バス）および町で運営する町内循環バス（はとバス）が公共交通手段となっている。
- 町民を対象とする路線バスは、町外の東武東上線坂戸駅、高坂駅を結ぶ2路線がある。乗車賃無料の町内循環バスは、亀井地区、今宿地区、ニュータウン地区、ニュータウン石坂地区内を運行する4コースがある。また、公共交通ではないが、町外の埼玉医大病院の職員を運ぶバス（埼玉医大バス）が町民の足として利用されていた。
- 町内循環バスは昼間の需要の少ない時間帯において、空気を運ぶような状況が発生しており運行効率が悪くなっている。
- 埼玉医大バスが12月末で廃止されてしまい代替の交通手段が必要となっている。
- 町内には公共交通の空白地域が存在するとともに、急激な高齢化の進展と将来の運転免許証の返納予定もあいまって高齢者の足の確保が求められている。

活性化の目標・方向性

- 高齢者の移動負担を軽減するドア・ツー・ドアサービスの導入。
- 需要の発生に応じた柔軟な公共交通の導入。
- 鳩山町と町外の主要拠点（埼玉医大）を結ぶ新たな路線の導入。

実施する事業の内容

- デマンド交通の導入（平成21年7月～平成23年度）
 - ◆ 町外主要拠点（埼玉医大）との間の運行（1日2往復） 7月～
 - ◆ 町内運行（フルデマンド） 10月～
 - ◆ 運賃 21年度は無料 22年度を目途に有償運行が可能になり次第有償
- 町内循環バスの見直し（平成21年10月～平成23年度）
 - ◆ 運行効率の悪い亀井、今宿コースの廃止（デマンド交通へ移行）
 - ◆ 運行効率の比較的良好なニュータウン、ニュータウン・石坂コースは需要の多い時間帯に限定して運行（需要の少ない時間帯はデマンド交通で対応）
 - ◆ 運賃 21年度は無料 22年度を目途に有償運行が可能になり次第有償

埼玉県鳩山町　：　総合事業の実施区域

